

治水と水力発電の多目的ダム

十勝川上流の十勝ダムは、山に降った流水の調節と水力発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。

十勝ダムの目的

●洪水を防ぐ（洪水調節）

総貯水容量：11,200万m³

→学校の25mプール30万杯分

●電気をつくる（水力発電）

年間発電量：38,549MWh

→一般家庭約10,000世帯分

※年間発電量は至近10カ年平均



建設中の十勝ダム（昭和53年）

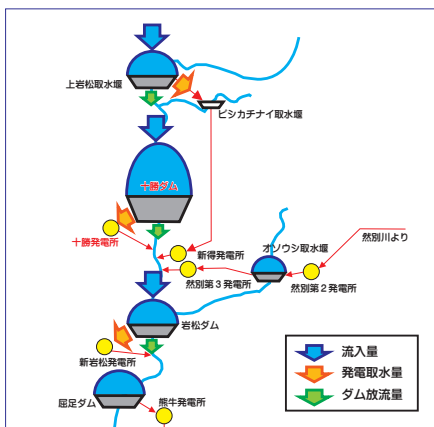


完成後の十勝ダム（平成28年）

●関連ダムとの連携による発電

十勝ダム（十勝発電所）では、最大94.0m³/sを十勝ダム貯水池から取水し、最大出力40,000kWの発電を行っています。

上岩松取水堰の未利用水を活用するとともに、流入量の一部を利用するなど、流域での効率的な発電に寄与しています（右図）。十勝ダムを含めた十勝川上流域6カ所、然別川流域2カ所の発電所による合計最大出力は十勝地方の消費電力の50%を供給することができます。



十勝ダム周辺の水利用状況



ダム見学会の実施状況



小学生の写生会



ダムカード



十勝ダムの情報はこちらから！

●防災操作

昭和59年の竣工から令和3年までの37年間で152回の防災操作を行い、下流の洪水被害の軽減に貢献しました。また152回の防災操作のうち洪水期の防災操作は98回でした。

●生物

十勝ダム流域はエゾマツ-ダケカンバ群落等の豊かな自然環境を有しており、より適切なダム管理に反映させていくため、生物の生息・生育状況の変化について調査・検証を行っています。

●地域とダム管理者の関わり

ダム水源地域の自治体、住民と協力し、新得町内の他ダム（佐幌ダム他）を含めた「十勝川上流水源地域ビジョン」を平成17年6月に策定。同推進協議会が主体となって、ダム周辺の豊かな自然を守り、周辺施設を有効に活用して、水源地域の振興を図る活動を行っています。

●ダム周辺の利用状況

十勝ダム周辺の主なイベントは、近隣の小中高校や大学の学習見学の他、民間事業者と連携した公共施設見学ツアーを実施。またダムカードを作成し管理支所で配布しています。